



たかの^{ひろゆき}博幸

市政れぽーと

2018.1 No. 54

連絡先／大分市田尻南2丁目3番17号 TEL 586-1156 FAX 586-1186
E-mail : takano.hiroyuki.0425@gmail.com

J R九州本社へ要望

ースマートサポートステーション導入についてー

昨年は、九州北部豪雨や台風18号など、自然災害が多い年でした。九州北部豪雨では、幸いにして大分市では大きな被害はありませんでしたが、9月の台風18号では、大分市においても大きな被害が出ました。床上・床下浸水をしたところがあり、住宅や道路を、農作物の被害などがあり、さまざまな課題も見つかりました。今後とも市民の生命と財産を守るために、防災・減災対策の強化に努めてまいります。

また、12月18日、J R九州本社へ市議会を代表して、野尻議長と要望に行ってきました。

内容は、スマートサポートステーション導入に関する件で、大分市民の生活に大きな影響を及ぼすスマートサポートステーション導入について再度検討していただき、市民にとって安全・安心で利用しやすい公共交通を維持するという視点から、市内8駅については、駅の無人化をすることなく、現在の体制を維持されることを要望しました。



JR九州に要望書を手渡す



要望後マスコミからの取材

市政についてのご意見・ご相談はお気軽にどうぞ！

「(仮称)健康づくり推進条例」制定に取り組みます

地方分権から地域主権の時代を迎える中、自治体の権限と責任は拡大し、住民の代表である議会の果たす役割もますます大きくなっています。

二元代表制の一翼を担う議会は、自治体の最終決定機関であり、監視及び評価機能の一層の充実に加え、政策形成能力も求められています。こうしたことから、本市議会では平成19年10月10日、会派を超えて政策研究に取り組むため、全議員で構成する議員政策研究会を設置しています。

これまで、「大分市議会基本条例」や「大分市子ども条例」、「大分市民のこころといのちを守る条例」などを制定してきました。今回は政策課題として「市民の健康づくり」に決定し、「(仮称)健康づくり推進条例」の策定に向けて現在、調査研究を行っています。大分市では、健康増進計画を策定して、健康づくりに関して様々な取り組みを進めていますが、健康増進計画をさらに加速させるためにも、議会として条例制定に取り組んでいきたいと考えています。

活動ダイアリー



11/8 大分市社会福祉大会



12/20 中島・錦町線開通式



11/5大分市ホームタウンDAY



11/8 東植田体協
グラウンドゴルフ大会

たかのっ走る



10月

- 3日 大分県市議会議長会議員研修会
- 5日 広島県二日市市議会、春日井市議会視察対応
- 6日 おおいた食と暮らしの祭典
- 12日 大分県都市計画審議会
- 14日 大分ポルトガル友好の夕べ
- 18日 建設常任委員会視察
- 19日 大分市戦没者追悼式
- 23日 中核市議会議長会第2回総会
- 24日 フィジー共和国青年スポーツ省事務次官駐日全権大使歓迎パーティー
- 30~11月1日 議会運営委員会視察(神戸市・那覇市)

11月

- 3日 文化の日表彰式
- 5日 のつはるななせの里まつり、大分市ホームタウンDAY
- 6日 市民意見交換会(コンパルホール)
- 8日 東植田体協グラウンドゴルフ大会、社会福祉大会

11月

- 9日 建設常任委員会、市民意見交換会(南部公民館)
- 10日 住居表示審議会、市議会全員協議会
- 11日 市民意見交換会(植田市民行政センター)
- 13日 副議長研修会
- 21日 商工会議所永年勤続優良従業員表彰式、大分市技能者表彰式
- 22日 議会運営委員会、市議会防災会議

12月

- 3日 第4方面隊内点検
- 9日 作家・安部龍太郎氏「宗麟の海」出版を祝う会
- 14日 大分市議会防災会議
- 15日 全国大会出場表敬訪問
- 18日 JR九州要望
- 20日 中島・錦町線開通式
- 27日 イルミネーション点灯式

1月

- 4日 新年祝賀互礼会
- 5日 大分市公設地方卸売市場「初せり式」、植田地区新年祝賀互礼会
- 7日 消防団出初式、成人記念集会

12月議会

11月30日～12月14日まで、第4回定例議会が開催されました。

今回は、パルコ跡地の整備事業費など下記の補正予算や上下水道事業を統合するための議案などが提案され、承認されました。



12月議会

【補正予算】

◎中心市街地祝祭広場整備事業・・・23億5,900万円

パルコ跡地を購入し、そこに祝祭広場を整備するための予算です。

〈予算の内訳〉

- ◇用地購入費・23億2千万円
- ◇測量設計委託費・2,900万円
- ◇既存舗装など撤去費・500万円
- ◇発掘調査費・300万円



現在のパルコ跡地

◎扶助費の追加計上・・・6億5,000万円

利用者増のため障がい児通所支援給付費、待機児童解消のための私立保育所等給付費などが追加計上されました。

◎国庫負担金等精算返還金・・・1億4,400万円

生活保護費や障がい者自立支援費等の事業費が確定し、国負担分の残金を返還します。

◎施設の指定管理業務の委託料

・・・10億1,800万円

下記の5つの施設が現在の委託期間終了により、新たな委託をします。

- ☆生き生きプラザ潮騒（5年間で3,900万円）・・・大分市社会福祉協議会（委託先）
- ☆多世代交流プラザ（5年間で2,650万円）・・・大分市社会福祉協議会
- ☆丹生温泉施設（5年間で2,000万円）・・・大分市福祉会
- ☆高崎山自然動物園（4年間で9億700万円）・・・大分市高崎山管理公社
- ☆海部古墳資料館（5年間で2,600万円）・・・坂ノ市地区社会教育関係団体連絡協議会

※指定管理業務の委託・・・市の施設の管理運営を市直営でなく法人や企業などの団体に委託料を払って運営してもらいます。団体は委託料と利用料等の収入で経営します。



多世代交流プラザ

◎災害復旧事業費・・・1億2,000万円

台風18号で被災した揚水機施設等の復旧費です。

◎人件費・・・3億1,600万円

早期退職者（26名）の退職手当です。

【一般議案】

◎市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

水道事業と下水道事業の統合・・・上下水道局

これまで水道事業は公営企業として水道局で行い、下水道事業は市長部局の下水道部として行ってきました。しかし、どちらも浄水場や処理場、管路などの施設が年月の経過により更新時期を迎えることや人口減少による料金の減収など、今後厳しい財政運営になることが予想され、料金収納の一元化など経営の効率化を図るため、「上下水道局」として組織を統合します。そして公営企業として運営することになります。（但し、市の一般会計からの繰り入れは継続します。）



現在の下水道部



水道局

◎市消防団条例の一部改正

消防団員の人材不足があり、これまで消防団員の定年は60歳であったのを、65歳に延長します。

◎市いじめ問題第三者調査委員会条例の一部改正

いじめによる重大事態が同時期に複数発生した場合や、事実関係を迅速に調査するため、これまで、委員が5人であった「いじめ問題第三者調査委員会」の委員を10名にし、そのうちの5人の委員と臨時委員とで構成する「部会」を置き、特別の事項について調査します。（臨時委員は、必要に応じて置くことができます。）

◎本庁舎耐震性能増強外改修工事・・・7億280万円

市役所本庁舎の耐震性能をさらに高めるための改修工事を行います。

◎市営住宅条例・市従前居住者用賃貸住宅条例の一部改正

市営住宅の入居者が認知症で、収入申告等が困難と認める場合、官公署の書類の閲覧で把握した収入で家賃を決定できるようにします。

【意見書】 今回、採択された意見書はありませんでした。

〈我が会派が提出したが不採択になったもの〉

◎慎重な憲法論議を求める意見書

衆参議院では慎重に憲法論議し、拙速な憲法改正の発議をしないことを求めます。

◎労働者の声を踏まえた真の働き方改革の実現を求める意見書

企業のためでなく、労働者の声を踏まえた働き改革を実現することを求めます。